

10月11月合併号

AKITA

JC NEWS

2024 AKITA JUNIOR CHAMBER INC.32



◆「10月例会を終えて」

会員増強交流委員会／副委員長 三上 慎太郎

「チームの連帯感を高め、コミュニケーションの輪を広げよう」をテーマに当日は、声掛けをしながら気軽にコミュニケーションをとれるスポーツとしてドッジビー・ドッジボール、大縄跳びを行いました。

多くのメンバーが参加しコミュニケーションをとっている姿が多く見受けられ普段なかなか交流しないメンバー同士の交流も見ることができ10月例会のテーマどおりそれぞれの連帯感を高めることができたと思います。

特に良かった点は作戦会議などで、仲間同士の連携確認をしたり、プレー中は笑顔でコミュニケーションを図ったりと、普段と違った方法で連帯感を高めたことだと思います。

最後に記入していただいたアンケートでは、大多数のメンバーが話したことないメンバーと交流ができて良かったと回答いただいております。今回の例会を機にさらにメンバー同士のコミュニケーションの輪を広げ今後のJC活動・運動に活かしていきたいと思っております。

当委員会としても3回の例会を通して多くの学びや気づきを得ることができました。今年も残りわずかですが気を引き締めて今後のJC活動・運動に取り組んで参りたいと思っております。



◆「11月例会を終えて」

夢を追う青少年育成委員会／運営幹事 安達 拓朗

11月17日（日）に市民交流センターALVE多目的ホールにて、「夢を掴むその一歩！～私にはできる、私ならできる～」をテーマに11月例会を開催いたしました。

子供たちは些細な経験からも夢を抱いていますが、その実、夢に向かい行動を起こす子供は多くはありません。子供が夢を叶えるために一人で考え行動するのではなく、親と意思疎通を図り、親子で夢を叶えるために行動することができるきっかけづくりを目的に開催いたしました。

講師に一般社団法人TJC教育サポート理事長深山翔平様をお招きし、大谷翔平選手も実践していたマンダラチャート、及び深山様が考案した、CSPゾーンについてご講演をしていただきました。座って聴く講演とは異なり、講演前や講演途中に体験を取り入れていただいたことにより、子供たちの緊張がほぐれ、親子での会話も活発になっておりました。マンダラチャートでは3原則である目的、目標、行動に加え、5W1Hという、なぜ、いつ、どこで、誰が、どれを、どのようにしてと、詳しく夢を描くことで、夢の実現に向け歩んでいけるとご講演いただきました。

CSPゾーンでは、深山様から出されたお題（勉強、ジェットコースターなど）に対して、3つのエリア、安心できるC（Comfort）、少し勇気がいるS（Stretch）、怖くてできないP（Panic）に分類しました。親と子供で考え方に違いがあることを知るとともに、頑張ればできるようになる、と前向きな会話も生まれておりました。子供に多くを求めるのではなく、子供に手を差し伸べてあげることの必要性を親子のみならず、我々JCメンバーも知ることができました。深山様から学んだことを活かしながら、今後の活動に邁進して参ります。

結びとなりますが、遠方から講師としてお越しいただきました深山様をはじめ、一般参加者の皆様、実施にご協力いただいた協賛の皆様、並びにメンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。

◆ 「11月例会記録写真」

